

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービス咲花		
○保護者評価実施期間	R6年 9月 1日		R6年 12月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R6年 9月 1日		R6年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	流動的なプログラム	同じような活動が続かないよう工夫している	プログラムの専門性をより高めていく
2	広い活動スペースの確保	物件の広さを活かし、 身体を動かせるスペース・座って過ごすスペースの 両方を広く設けている	
3	緊急時マニュアルの周知	災害発生時の具体的な動きをマニュアル化し、 保護者様にも周知している	保護者様が迎えに来られない場合の対応を 大阪市に相談しているが、具体的な方針は まだ定まっていない

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者の交流の機会の少なさ	コロナ禍をきっかけに2020年から途絶えてしまった	令和7年より徐々に再開予定
2	障害のない子どもとの交流の機会の少なさ	トラブル回避のため、事業所外の子どもとの 接触に慎重になっている	
3	バリアフリー化	マンションの一室を借りているため、 大規模なバリアフリー化の施工ができない	段差の解消や握力の弱さをカバーする グッズなどを活用する